

「西王母」「八仙人」 石像9体お目見え

園の
趙梨湯燕

鳥取県湯梨浜町引地のと、七福神のルーツとさ
中国庭園・燕趙園に、長れる「八仙人（はっせん
寿の仙女として知られるにん）」の石像、合わせ
「西王母（せいおうぼ）」七体が設置され四日、

除幕式をし
て一般公開
される。不
老長寿、招
福の像とし
て来園者に
親しまれそ
うだ。

石像は
「漢白大理
石」と呼ぶ
中国特産の
白色の大理
石製。各像
の高さは一
・二一・
五尺。清朝
末期、百年
余り前に造
られたという。

二〇〇一年に死去した
大阪市内の会社社長が三



燕趙園の中庭に設置された「西王母と八仙人」の石像。
右から3体目、最高所に立つのが西王母像

十年ほど前、中国から入
手。「一番ふさわしい場
所に寄贈を」という遺言
によって、事業を引き継
いだ夫人（現社長）が寄
贈先を探し、杉原弘一郎
東京印刷社長（米子市）、
同園に孔子・孟子像を寄
贈した小松昭夫小松電機
産業社長（松江市）らの仲
介で燕趙園に決まった。
場所は、孔子・孟子像
が立つ集粹館と園内を結
ぶ中庭。東郷池と園内の
楼閣を背に並ぶ。神仙思
想にふさわしいように、

蓬萊（ほうらい）山をイ
メージした築庭の中に、
各石像が自然石の上に立
った様子は、まさに仙境
のよう。

「西王母」は、天帝の
娘とされた仙女で「天界
の最高仙女」として信仰
を集める。三千年に一度
実り、食べれば長寿を得
るとされる「仙桃」を持
つ。孫悟空が実を取ろう
として大暴れしたことは
有名な伝説。「八仙人」
は、財運、福徳をもたら
す仙人で、中国では祝賀
の席に八仙人を描いた掛
け軸や置物を飾る。日本
の「宝船」の絵は、八仙人
が蓬萊山に向かう「八仙
渡海図」が元という。